

西高校生レポート

西高農場は、地域とともに先端技術の研究・研修、憩い、自然とのふれあいの「場」として開放しています。

西高生徒1年の軌跡

春~Spring~



能代西高高校生徒の活動の記録です。春は、ねぎの定植や全校生徒による田植を行いました。

夏は、暑さにも負けず生育管理について研究を重ねました。

秋は、大事に育てた農作物の収穫をし、実りの秋を堪能しました。

冬は、よりよい農業を目指し意見交換を行い1年間の活動を振り返りました。

つばみから始まった生徒達の活動は、四季を通じて色とりどりの花を咲かせました。

冬~Winter~



夏~Summer~



秋~Autumn~

夢に向けて、農業法人へ



今年卒業した生徒から、夢に向けて抱負を聞きました。

松橋 浩弥さん(右)

「葉物類の栽培が好きでそれを生かせる職場に就きました。自分の個性を出した栽培をしたいです。」

石井 耀太さん(中)

「学校で学んだ技術を生かして、高品質の野菜を作り消費者に提供したいです。」

木村 奈緒さん(左)

「学生の気持ちを捨てて、1日でも早く仕事を覚え、正しい判断をできる大人になりたいです。」

農業教員の授業力向上を図る



農業教育指導者としての資質向上を図るため、秋田県高等学校教育研究会農業部会主催の農業教員研修会が開催されました。全県の高校から17名の農業教員が集まり「ソバ打ち」や「農業機械分解掃除」等の実習を行いました。

ソバ打ち実習では、講師に石川そばの福士正信さんを招き、生徒がアシスタント役として始めました。参加者は慣れない手つきながらも、丁寧にそばを作り、とてもおいしそうなおそばができました。また、午後からは農業機械実習として、刈払機や動力噴霧機等の分解清掃の実習を行いました。自身の技術向上と共に、生徒たちが安全に実習できるよう参加した教員は理解を深めていました。



→講師の福士正信先生

